

学校教育課だより

かけはし

平成二十八年度の教育展望

『ふじさんのように』の教育展開

教育長 勝又 将雄

◆ 一面桜満開の春爛漫らしい今年度のスタートでした。入園式、入学式の希望に満ち溢れた子どもたちの姿に気持ち新たにいたしました。子どもたちは、これから新しい生活を送り、日々季節の風の中で一年間の「確かな成長」を図ります。今年度の教育に期待することの原点です。温かな家庭教育を基盤として、素直でたくましい子ども育成、明るく元気な学校づくりを意識して、教育行政も協力して、へい、いい教育にまい進したいと思えます。

◆ 昨年度、不祥事発生に危機感を共有し、切ない思いを抱きつつも信頼回復に全力投球したことを忘れてはなりません。御殿場市の十二年間の連携・一貫教育構想に則った園長先生、校長先生のお考えになる園・学校経営指針。目の前のその子どもたちの姿を早く把握してさらなる具体構築を期待します。人生における「先生」の存在は大きいものです。謙虚に、真摯に立ち向かい、子どもたちとの「出会い」の新鮮さと、夢や希望に満ちた子どもたちの成長へ

学校教育課だより
「かけはし」
【第 1 号】
平成 28 年
4 月 28 日発行
御殿場市教育委員会
学校教育課



の思いを持つ教師。「教育とは人生の生き方の種まきをする」との通り、志をまつすぐにして、この一年間をかけて様々な角度から考え、悩み、楽しみ、子どもたちと一緒に学び、成長していく、それが「信頼」される教師の姿だろうと思えます。

人や教職員の入れ替えもありますが、常に原点に立ち戻って趣旨をきちんと共有してほしく思います。御殿場らしい教育の実現を着実に図っていきます。

◆ 四月から「新教育長」への移行となりました。学校教育課長も次長から「教育監」となります。さらに重責を担います。制度改革です。全国的な新教育委員会制度の様々な教育改革も、御殿場市はその多くの作業を丁寧に築きあげてきたつもりです。一歩進んで「いじめ防止基本方針」の策定、「子ども条例」策定と、他市町に先駆けて実践的な方向性を見定めてきました。市長部局との連携、総合教育会議の議題にも内容が伴い、社会一丸となつての姿勢は、御殿場市の第四次総合計画に掲げる「新の子育て支援日本一」の取り組みの柱となる施策の重要な一つに数えられます。

◆ また、幼稚園、学校現場に向けては、先生方の叡智を絞って作成した心の教育副読本『ふじさんのように』、教育指導センターのブックレット No.2『御殿場市の幼稚園教育』を発刊できました。昨年度に続き、御殿場市の教育姿勢を問う素晴らしいテキストだと思っております。全教職員に配布していることの「重み」を理解願います。子どもたちの「学び」に還元願います。

さらに、力を入れてきた夏の「市教育フォーラム」も今年で四回を数え、講演講師に、九州・福岡から『日本の偉人の物語』等の著書を持つ、親子で受けた歴史の授業として人気の高い元国際線客室乗務員の白駒妃登美さんを招きます。様々な事業も確かな「定着」を意識するときはです。

◆ 今年も二十名という新規採用教職員が赴任されています。年度末の人事異動を経て、新しいスタッフで学校が動いています。本市で育ち、羽ばたき優秀な教職員となつて各地で活躍されている皆さんを見てみると、本当にうれしく思います。学ぶ子どもたちと同時に私たち教職員もお互い切磋琢磨しつつ頼もしい教職員へと成長していくことを期待しています。

家庭、学校、地域に吹く風（家風、校風、気風）は一体です。いい学校づくり、いい教育にまい進して、家庭と協力して健やかなる成長を遂げる子どもたちを育てていきましょう。御殿場らしい、北駿らしい教育の風がさわやかに流れていくことを願っています。

す。自分のできることを一つ一つ積み重ね、子どもたちを支えていくことで、豊かな学びの芽を伸ばせるように全力で取り組み覚悟です。何事にも素直に学び、子どもたちの教育に携わる方々との関わりを大切に、厚い信頼関係を築いていくために、絶えず研鑽と修養に励んで参ります。

最後に、子どもたちが笑顔で生き生きと生活できることを心から支えられる教職員となれますよう、皆様方の御指導と御鞭撻を心よりお願い申し上げます。

学校教育課

スタッフ紹介

今年度の学校教育課スタッフを紹介いたします。新しいスタッフは、写真付で紹介いたします。一年間よろしくお願ひします。

◇【主席指導主事 福島英子】
学校教育課二年目になります。今年度も引き続き、主に職員の任用事務関係を担当することができますようにがんばりたいと

思います。また、学校も訪問させていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

◇【統括 府川健作】



今年度より学校教育課で勤務となりました。教育部門は初めて

の経験ですが、国の将来を担う子どもたちの健やかな成長に、少しでもお役に立てるよう、肩肘張らずにがんばります。どうぞよろしくお願ひします。

◇【指導主事 秋岡智子】



本年度より学校教育課でお世話になります。主に特別

支援教育、就学支援、教育課程などを担当します。子どもに寄り添い、先生方と共に学びながら特別支援教育の充実を目指していこうと思ひます。よろしくお願ひします。

◇【指導主事 小越隆則】

学校教育課三年目となりました。主な担当は、研修関係

外国人児童生徒適応指導教室等になります。各学校での子どもたちの学びの充実、楽しい学校生活を目指して、がんばりたいと思ひます。よろしくお願ひします。

◇【指導主事 石田善正】

昨年度に引き続き、学校教育課でお世話になります。主に生徒指導、定数、学籍などを担当します。先生方が子どもと向き合う時間を少しでも多く生み出せるように業務を進めたいと思ひます。よろしくお願ひします。

◇【幼稚園指導員 勝又立雄】

今年も幼稚園指導員でお世話になります。子ども子育て支援新制度で、女性が輝き、待機児童は悪のようです。乳幼児と親を引き離すように世の中が進んでいます。子どもたちは、日本は大丈夫でしょうか？心配しています。

◇【教育指導センター 指導員 湯山伸彦】

教育指導センター指導員として、度々学校にお邪魔します。若い先生方の教師力向上や授業改善に向けて、少しでもお役に立てるよう渾身の力を振り絞る所存です。よろしくお願ひします。

◇【教育指導センター 指導員 岩田京子】

子どもたちが目を輝かせる授業がしたい、子どもたちを深く理解したい・・・目標をもって努力する若い先生方のがんばりを応援していきたいと思ひます。指導員二年目です。今年度もよろしくお願ひします。

◇【副主任 小寺智之】

今年度で学校教育課五年目となりました。今年度の主な担当業務は、①免許更新・免許申請②特別支援学級就学奨励費③災害共済給付金の関係になります。長くいるだけと言われたいようがんばって参りたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

◇【副主任 勝間田哲哉】

いつもお世話になっております。無事に学校教育課三年生の春を迎えることができました。勝間田です。今年度も学校保健を中心に、学校現場が子どもたちの健やかな成長にたくさん関わられるようがんばります。一年間よろしくお願ひします。

◇【主事 渡邊真衣】

学校教育課二年目になりました。今年度の主な担当業務

は市費臨時職員事務、学籍関係、教科書無償給与事務になります。今年度もみなさんのお役にたてるよう精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

◇【教育相談員 勝又和代】

今年度も引き続きお世話になります。学校は無理でも、図書館には行けそうという子どもたちの教育相談を行っています。子どもの心に寄り添う支援の難しさを感じながら、試行錯誤の毎日です。よろしくお願ひします。

◇【巡回指導員 瀬戸祐子】

今年度もお世話になります。発達障害をもつ児童生徒の困り感に寄り添い、支援のあり方を先生方と共に考えていきたいと思ひます。学校の要請に応じて伺いますので、よろしくお願ひします。

◇【一般事務補助 増田千鶴子】

早いもので、学校教育課五年目になりました。今年も慣れに驕らず、新たな気持ちで、スタッフの皆さんとのチームワークを大切にしながら、日々の自分の仕事をがんばりたいと思ひます。よろしくお願ひします。



の皆様、校長先生をはじめ先輩教職員の皆様に温かく指導していただきました。以後、さまざまな地域、学校・事務局等へ異動しましたが、異動は研修といわれませんが、他で学んだことを御殿場市の教育活動に還元することが、これまでいただいていたご恩に報いることであると肝に銘じております。

私たち転入、新規採用教職員はそれぞれ立場や経験は異なりますが、これまで学んできたことを生かし、新任地である御殿場の教育に携わろうという思いは、きつと同じだと思えます。これから新たに出会おう子どもたち、地域の方々や教職員との学び合いを通して、それぞれ自らを成長させようと、熱い思いを抱いていると思えます。

御殿場市は、縦の接続と横の連携を組織化して、学校・家庭・地域社会がそれぞれの機能と役割を担い、生涯学習の視点に立つてすべての市民が「自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人」「多様な生き方や価値観を認め、人とのかわり合いを大切にする人」「社会の一員として、よりよい社会作りに参画し、行動する人」づくりを目標としています。

学校教育にあつては、子どもたち一人一人に、「豊かな感性 確かな知性 健やかな心身」、そして、現代の重要課題である、環境、防災・安全、国際理解等に関する教育を推し進め、「魅力ある学びづくり」「学びの見通しを活かした幼・小・中連携・一貫教育」「子どものニーズに応じた特別支援教育」「人間力・社会力を育てる心の教育」を柱とした教育活動を展開しています。

私たち転入、新規採用教職員は、それぞれがこれまで学んで培った持ち味を発揮し、信頼で結ばれた皆様と課題を共有しアイデアを出し合っ、常に将来の御殿場を担う子どもたちのためになっているかを考

えて行動する、そんな学びづくりに貢献したいと思えます。学びは問いを持ち、関わり合いを通してこそ、充実したもものなると思えます。

微力ではありますが、御殿場市の子どものための健やかな育ちと教育の推進に、精一杯努める所存です。皆様からの温かなご厚情を賜りますようお願い申し上げます。転入の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

初任者代表挨拶

御殿場南小学校
池田 廉 教諭

本日四月一日をもちまして、私たち二十名は御殿場市の教職員となります。これまで目指してきた教職員という仕事に就くことができ、期待に胸を膨らませていきます。これから赴任いたします学校で出会う子どもたちの姿を思うと大きな喜びがあります。同時に、子どもたちの教育に関わらせていただけることに、教職員としての大きな責任を感じています。

私は昨年度臨時講師として子どもたちと共に学ぶ機会を得ることができました。笑顔あふれる子どもたちの活動に共に関わることに、授業づくりのために、教材研究に多く時間を費やすことの大切さを実感しました。何よりも、私の周りにいる先生方の教育に対する情熱を目の当たりにしたことは、大きな学びとなりました。また、学校には様々な先生方がいらつしやる中で、私自身も様々な方に支えられているのだということを感じました。この一年間の経験から慕われる教師より信頼される教師になりたいと感じるようになりました。優しさはもちろんです、それだけではなく、人として成長させてあげたいという強い思い、慣れ合うのではなく真剣に向き合うことで信頼されていくのだと思えます。今この場に立ち、子どもたちの未来を創る支援ができる立場になれたことをうれしく、誇りに思います。

この場にいる新規採用者二十名の一人一人にも、教育に対する熱い思いがあると思います。子どもたちは未来からの贈り物と言われています。



未来を生きる子どもたちだからこそ、目の前の子どもの今を見て、これからおこなう教育に誠意をもって取り組んで参りたいと思えます。子どもたちは私たち教師の投げ掛ける言葉や行動をモデルにして学びを深めていきます。だからこそ、その大きな影響を与える立場にある自覚と責任を常にもち、初心を忘れず、子どもと向き合っていきたいと思えます。

最初は至らないことが多くあることと思えます。しかし決して一人で抱え込むのではなく、教育委員会の皆様、校長先生、様々な先生方の御指導を仰ぎながら、子どもたち一人一人の良さと可能性を伸ばしていきたいと考えていま

「重い仕事の自覚、そして

思いをもってスタート」

教育監兼学校教育課長兼教育指導センター所長

鳥越 雅幸

平成二十八年度、教諭十八人、養護教諭一人、事務職員一人、計二十人のやる気あふれる新規採用教職員を迎えました。スタートにあたり、初任者に次のような話をしました。「料理人と仕事」という本

に、「いかに技術と知識に優れていようと料理人に欠かすことのできないもの、それは、自分は料理人であり、人の命にかかわるものをつくっている」という、職業への自覚でしょう。」という一節があります。

す。全ての料理人が、このようないかに自覚という自覚をもっている。時々新聞紙上を賑わす、食材の偽装や賞味期限切れの食材を提供するようなことは起きないでしょう。

教職員としての自覚をもってもらったために、料理人を教職員に置き換え、「自分は教師（養護教諭、学校事務職員）」

であり、「〇〇」という自覚を發表してもらいました。教職の道を歩むにあたって、子どもの成長発達にかかわる重い仕事であることを再確認してもらいました。

同時に重いだけでなく、思いをもって、子どもたちや学級のゴールの姿を描くことが大切な時期です。百歳を越えるジャーナリストの、むの たけじさんが次の詩を書かれています。

万事に出発は、はつきりくつきりと
でないし終着があいまいになる
望むこと、欲しいものは
自分に対してハッキリ意思
表示する
あいまいな出発は、結果
をもっとあいまいなものに
する



この時期に、学級、学年、学校のゴールをはつきり、くつきりイメージしたいものです。大切なことは、学校で働く全ての人が目指す学校のイメージを共有して、後ろ姿で子どもを育てることです。

最近、チーム〇〇という言葉葉を耳にすることが多くなってきました。しかし、学校には、もともと、協働性を発揮する職場文化がありました。

先輩が何か作業を始めたなら、自分のことは後回しにして手伝いに飛んでいきました。先輩と話しながら仕事をすることで様々なことを学びました。「チーム学校」の発想は、多種多様な課題に対し、多様な専門性をもつ人材と連携・分担してチームとして職務を行うことにより、学校の教育力・組織力を向上させることです。

市内全ての学校で協働性が発揮され、それが結果として「チーム〇〇学校」となることを願っています。
一年間、よろしくお願います。

市教職員着任式

三月の離任式では、三十八名の先生方とお別れをしなければなりませんでしたが、四月一日、新たに二十名の新規採用職員の方を含む、総勢四十三名の教職員の皆様をお迎えすることができました。

チーム御殿場として、皆様の熱意と専門性をいかに発揮し、市の教育の発展のために御活躍ください。



転入者代表挨拶

神山小学校
横川幸次郎 校長

このたびの人事異動により、私たち二十三人の転入教職員及び二十人の新規採用教職員は、御殿場市にお世話になることになりました。

本日は、公務ご多用の中、福祉文教委員長 長田文明様をはじめ、ご来賓の皆様、教育委員会の皆様、関係の皆様のご臨席を賜り、転入、新規採用教職員を温かく迎え、このように厳かな式を開催していただき、心より感謝申し上げます。それぞれが緊張や不安の中にも、いよいよ出発だという希望や期待に思いを大きく膨らませております。

私事で恐縮ですが、私は三度目の着任式であります。初めての着任式は、新設校である朝日小学校に新規採用教職員としてでした。

地域の皆様の支えのもと、子どもたちと教師、学校全体で新しい学校づくりを進めていたことを思い出します。初任者である私は、とりわけ学ぶことが多く、保護者・地域